

ProVisionaire Control

主なアップデート内容

V3.11.0

新機能

[ProVisionaire Control]

- ProVisionaire Design から ProVisionaire Control のページヘドラッグアンドドロップによりパラメーターをアサインできるようになりました。
- 対応機種に以下のモデルを追加しました。iPad からの操作をご希望される場合、ProVisionaire Control で作成したコントロールファイルを ProVisionaire Touch Kiosk に送信してお使いください。
 - シグナルプロセッサ DME7
- デジタルミキシングシステム RIVAGE PM シリーズ CSD-R7, DSP-R10, DSP-RX, DSP-RX-EX に以下のパラメーターを追加しました。
 - Scene Recall
- 遠隔会議用プロセッサ RM-CR に以下のパラメーターを追加しました。
 - Preset Recall

仕様変更

[ProVisionaire Control]

- DSP-R10, CSD-R7, DSP-RX, DSP-RX-EX で使用する一部のカテゴリ名とパラメーター名の表記を変更しました。
 - DCA → DCA Group
 - Mute Master → Mute Group Control
- VXL1-16P を追加するとき、"Match Device by"で"Unit ID"を選択すると使える Unit ID の設定幅が 1~7F に拡張されました。
※VXL1-16P 本体の Unit ID の設定方法は取扱説明書やリモートプロトコル仕様書、ProVisionaire Design のマニュアルをご参照ください。

修正した不具合

[ProVisionaire Control]

- System Monitor ウィジェットにおいて、「Setup」ダイアログ内「Security」タブの Auto Screen Lock [Enable]チェックボックスと Auto Screen Lock [Timeout]スライダーを設定しても正常に動作しない不具合を修正しました。
- 現在の設定と異なる IP Address を設定した機器を登録した状態でファイルを保存し、そのファイルを開き直して IP Address を正しい値に変更しても認識したマークが表示されない不具合を修正しました。

[ProVisionaire Touch KIOSK]

- Track List ウィジェットを ProVisionaire Touch KIOSK で表示するとクラッシュすることがある不具合を修正しました。

既知の不具合

[ProVisionaire Touch KIOSK]

- ページを切り替えたとき、「Match Device by」を IP Address にして追加した機器を発見できなくなることがあります。この問題を回避するためには、ProVisionaire Control ではなく、ProVisionaire Touch でファイルを作成してください。

V3.10.0

新機能

- ProVisionaire Control の対応機種に以下のモデルを追加しました。
 - デジタルミキシングシステム RIVAGE PM シリーズ CSD-R7、DSP-R10、DSP-RX、DSP-RX-EX
 - テーブルトップアレイマイクロフォン RM-TT
 - ProVisionaire Touch KIOSK にエクスポートした場合も上記のモデルをサポートします。
- ProVisionaire Touch の対応機種に以下のモデルを追加しました。
 - デジタルミキシングシステム RIVAGE PM シリーズ CSD-R7、DSP-R10、DSP-RX、DSP-RX-EX

- 遠隔会議用プロセッサ RM-CR に以下のパラメーターを追加しました。
 - Grouped Mic Mute
 - On and Level for inputs (Near end, Mic, Dante), mixing buses and outputs (Near/Far ends)
 - Meters for all On/Level points above
 - Bluetooth Pairing/Status
- シーリングアレイマイクロフォン RM-CG に以下のパラメーターを追加しました。
 - All Mute (マイクを On/Off します。)
 - Auto Gain Control/Speed
 - Meter for AEC Reference Signal

仕様変更

- RM-CG で使用する一部の 카테고리名とパラメーター名の表記を変更しました。
(例: Mute → Channel Mute)
- RM-CR で使用する一部の 카테고리名とパラメーター名の表記を変更しました。
V3.9.0 までのパラメーターは、新しく追加された Dialer という大カテゴリの下に移動しました。

修正した不具合

- インジケーターのウィジェットに Digital Mixer(CL 等)のメーターをアサインしたとき、Indication Threshold が正常に作用しない不具合を修正しました。
- Project File を Load したときに、「Error: Cannot open, file already in use.」が表示されることがある不具合を修正しました。
- IDK 社 MSD-S71 の Cross Point Memory を操作中にエラーが発生する不具合を修正しました。
- ProVisionaire Control V3.7.0 で作成したファイルを V3.8.0 以降でロードしたとき、CL とのオンライン状態を維持できない不具合を修正しました。
- その他コンポーネントに関する軽微な不具合を修正しました。
- 一定期間たつと不必要なファイルでハードディスク容量が圧迫され、ProVisionaire Monitoring Service で機器の情報をモニタリングできなくなる可能性がある不具合を修正しました。

既知の不具合

- ProVisionaire Control の Type で ProVisioniare Touch Kiosk を選択し、CSD-R7、DSP-R10、DSP-RX、DSP-RX-EX の Input Ch、Mix Ch、Stereo Ch、Matrix Ch の Fader>Level を Value ウ

エジレットにアサインしたとき、小数点が表示されません。また、-Inf と表示されるべきところが -32768 と表示されます。

お知らせ

[RM シリーズ]

- "Match Device by"で Unit ID を選択して機器を追加したとき、オンライン中に UNIT ID を変更するとオフライン状態になりません。このようなときは、ProVisionaire Control を再起動してください。
- ProVisionaire Control / ProVisionaire Touch から RM Series のデバイスが発見できなくなるため、RM Series の HOSTNAME SETTINGS の Mode 設定は、Yamaha Hostname using Unit ID でお使いください。

[RIVAGE PM シリーズ]

- ProVisionaire Control では、RIVAGE PM シリーズの Control Network[PC]端子を使用するコントロール通信のトラブルを避けるために、RIVAGE PM シリーズ専用のネットワークカードを使用することを推奨します。ProVisionaire Control に接続する他のデバイスは別のネットワークカードに接続してください。
- ProVisionaire Touch では、RIVAGE PM シリーズの Control Network[PC]端子を使用するコントロール通信のトラブルを避けるために、RIVAGE PM シリーズのみをアクセスポイントに接続し専用コントローラーとして使用することを推奨します。ProVisionaire Touch は RIVAGE PM StageMix, MonitorMix と同時に使用可能です。他のデバイスをコントロールする場合は、別の ProVisionaire Touch およびアクセスポイントを使用してください。

V3.9.0

ProVisionaire Control V3.9.0

新機能

- ProVisionaire Control の対応機種に以下のモデルを追加しました。
IDK 社デジタルマルチスイッチャ MSD-S シリーズ MSD-S72, MSD-S71, MSD-S52, MSD-S51
- シグナルプロセッサー RM-CR で Ring Tone Volume をコントロールできるようになりました。

- RM-CR、シーリングマイクロフォン RM-CG は、従来の IP アドレスでの接続のほか、Unit ID でも接続できるようになりました。また、ネットワーク内に RM-CR や RM-CG が接続されている場合、Device サブウィンドウに表示されるようになりました。

仕様変更

- RM-CR、RM-CG で使用する一部のパラメーター名の表記を変更しました。

修正した不具合

- ProVisionaire Control から ProVisionaire Touch にコントローラーファイルをエクスポートしたときに、まれに ProVisionaire Touch を異常終了させるファイルができてしまう不具合を修正しました。
- ProVisionaire Control V3.7 で作成した一部のファイルが ProVisionaire Control V3.8 で読み込めない不具合を修正しました。
- MTX-MRX Editor の MRX7-D の設定画面において、「Parameter Link Group」のリンクマスターや「Parameter Sets」のスナップショットが ProVisionaire Control へドラッグできない不具合を修正しました。
- ProVisionaire Control の「Setup」ダイアログ の[Network]タブで本体 Ethernet の Network Card Name を未選択に設定しても、接続が維持されてしまう不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

既知の不具合

- 現在の設定と異なる IP Address を設定した機器を登録した状態でファイルを保存し、そのファイルを開き直して正しい値に変更しても認識したマークが表示されません。この場合は、再度ファイルを保存してから一旦プロジェクトをクローズし、保存したファイルを開き直すと、認識マークが表示されるようになります。
- ProVisionaire Monitoring Service V1.2.0 のインストーラーでアンインストールしたとしても postgresql-10 が残ってしまい、次回インストール時にパスワードを確認する画面が表示されてしまいます。この場合は、Windows の設定から「アプリ」を選択し、「アプリと機能」から「PostgreSQL 10(x86)」をアンインストールしてください。
- ProVisionaire Touch KIOSK 用のファイル名に以下の文字が含まれていると正しく保存されません。
"<> |: *? ¥ /"
- [Recall Button]に IDK 社のデジタルマルチスイッチャ MSD シリーズが割り当てられている場合、[Indication Mode]を[Stateful]にしても点灯しません。

V3.8.0

新機能

ProVisionaire Control

- 対応機種に以下のモデルを追加しました。
 - 遠隔会議用プロセッサ RM-CR
 - シーリングアレイマイクロフォン RM-CG
 - IDK 社デジタルマルチスイッチャ MSD シリーズ MSD-402、MSD-701UHD
- Widget の編集機能として、[Create Master Slider]を追加しました(1 つの Slider に複数のパラメータを割り当てできます)。
- 複数のネットワークカードを扱えるようになりました。複数のネットワークカードを使用する場合には、それぞれのネットワークアドレスが独立している必要があります。
- IDK 社デジタルマルチスイッチャ MSD シリーズの Picture in Picture 機能、電源の制御機能を追加しました。
- デザインモードにおいて、複数の Widget のチャンネルを一括変更できるようになりました。
- コントローラーを新規作成するときに 3:4 (ポートレート) のアスペクト比を選択できるようになりました。
- 既存の別プロジェクトファイルから、任意のコントローラーを読み込めるようになりました。

ProVisionaire Monitoring Service

- 対応機種に以下のモデルを追加しました。
 - デジタルミキシングシステム RIVAGE PM シリーズ
 - シグナルプロセッサ MTX シリーズ、MRX7-D
 - パワーアンプリファイアー XMV シリーズ
 - NEXO パワード TD コントローラー NXAMPmk2
- 複数のネットワークカードを扱えるようになりました。複数のネットワークカードを使用する場合には、それぞれのネットワークアドレスが独立している必要があります。
- “Scan for Devices”機能によりローカルネットワーク内をスキャンし、検出されたデバイスを監視対象として一括登録できるようになりました。NXAMPmk2 を監視対象とする場合にはこの方法で登録してください。
- ProVisionaire Control の”System Monitor”ウィジェットに加えて、Web ブラウザでローカルシステムをモニタリングできるようになりました。

修正した不具合

ProVisionaire Control

- Controller 名に"."を使用すると、Export Controller File でファイル名が正しく反映されない不具合を修正しました。
- ネットワークカードの名称にマルチバイトの文字があると、「Setup」ダイアログの「Network」タブで Network Card Name が文字化けする不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

既知の不具合

- ProVisionaire Touch KIOSK 用のファイル名に以下の文字が含まれていると正しく保存されません。
"<> |: *? ¥ /"
- [Recall Button]に IDK 社のデジタルマルチスイッチャ MSD シリーズが割り当てられている場合、[Indication Mode]を[Stateful]にしても点灯しません。

V3.7.0

新機能

- MTX/MRX V4.00 の「External Events」機能に対応しました。
- DZR の Dante モデルの Dante Output に対応しました。DZR のファームウェアを V1.2.2 以降にアップデートしてください。

仕様変更

- 対応 OS を Windows 10 以降にしました。

修正した不具合

- 「ProVisionaire Monitoring Service Settings」画面で[TCP port number for data collection of ProVisionaire Monitoring Service]の Port 番号を 1 にすると「System Monitor」画面が表示されない不具合を修正しました。
- 「ProVisionaire Monitoring Service Settings」画面の[TCP port number for view of ProVisionaire Monitoring Service]と[TCP port number for data collection of ProVisionaire Monitoring Service]の Port 番号を同じ値を設定できる不具合を修正しました。

- ProVisionaire Control KIOSK や「System Monitor」画面を開いているとき、「ProVisionaire Monitoring Service Settings」画面の[Select a network interface to communicate with devices]の設定変更が、画面を閉じても反映されない不具合を修正しました。

既知の不具合

- ネットワークカードの名称にマルチバイトの文字があると、「Setup」ダイアログの「Network」タブで Network Card Name が文字化けします。
- ProVisionaire Touch KIOSK 用のファイル名に以下の文字が含まれていると正しく保存されません。
"<> |: *? ¥ /"
- MTX シリーズの Input CH->EQ->On を ProVisionaire Touch のワークスペースに配置した場合、オン/オフが ProVisionaire Touch KIOSK で逆転表示されます。
- [Recall Button]に IDK 社のデジタルマルチスイッチャ MSD シリーズが割り当てられている場合、[Indication Mode]を[Stateful]にしても点灯しません。

V3.6.1

修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

既知の不具合

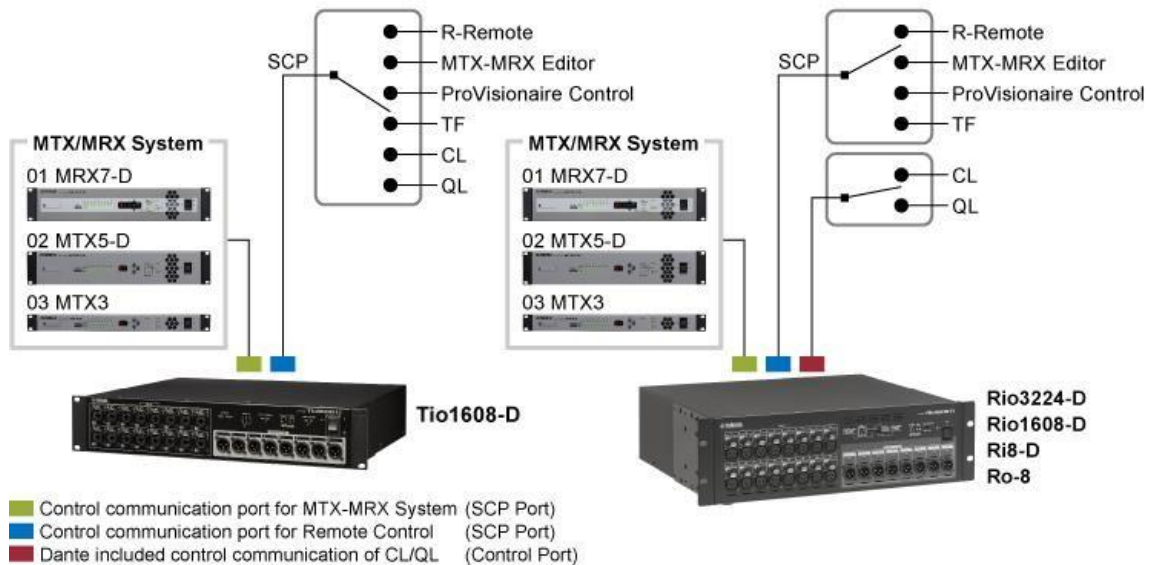
- ネットワークカードの名称にマルチバイトの文字があると、「Setup」ダイアログの「Network」タブで Network Card Name が文字化けします。
- ProVisionaire Touch KIOSK 用のファイル名に以下の文字が含まれていると正しく保存されません。
"<> |: *? ¥ /"
- MTX シリーズの Input CH->EQ->On を ProVisionaire Touch のワークスペースに配置した場合、オン/オフが ProVisionaire Touch KIOSK で逆転表示されます。
- [Recall Button]に IDK 社のデジタルマルチスイッチャ MSD シリーズが割り当てられている場合、[Indication Mode]を[Stateful]にしても点灯しません。
- 「ProVisionaire Monitoring Service Settings」画面で[TCP port number for data collection of ProVisionaire Monitoring Service]の Port 番号を 1 にすると「System Monitor」画面が表示されないことがあります。

- 「ProVisionaire Monitoring Service Settings」画面の[Select a network interface to communicate with devices]の設定変更は開いている ProVisionaire Control KIOSK や「System Monitor」画面には反映されません。変更した場合は、ProVisionaire Control KIOSK と「System Monitor」画面を開き直してください。

お知らせ

- 「ProVisionaire Monitoring Service Settings」画面の[TCP port number for view of ProVisionaire Monitoring Service]と[TCP port number for data collection of ProVisionaire Monitoring Service]の Port 番号は異なる値に設定してください。
- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF、R Remote、MTX-MRX Editor、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。
また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、TF、MTX-MRX Editor、R-Remote、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

SCP Port of Tio/Rio



V3.6.0

新機能

- ProVisionaire Monitoring Service に複数機器の詳細情報を表示する「Compare」画面を追加しました。

- PC シリーズに対応しました。対応ファームウェアは V1.0.2 以降です。
- NXAMP4x4mk2 に対応しました。対応ファームウェアは LOAD5_03 以降です。

改善点

- [Run]を実行するたびに、ProVisionaire Control KIOSK が起動していました。複数の ProVisionaire Control KIOSK が起動していると機器と接続できなくなることがあるので、ProVisionaire Control KIOSK は 1 つのみ起動するようにしました。
- 「Properties」エリアで Text を直接入力できるようにしました。

修正した不具合

- Group 化したウィジェットをキーボード操作で移動し、他のページやコントローラーにフォーカスを移動したり、プロジェクトファイルを保存すると、キーボード操作による移動がキャンセルされる不具合を修正しました。
- 異なる図形で Copy Style&Paste Style を実行すると、コピー元の図形になる不具合を修正しました。
- 一部の言語で ProVisionaire Monitoring Service がインストールできない不具合を修正しました。
- コンピューターに複数のネットワークインターフェースカード(NIC)があり、同じサブネットの IP アドレスをそれぞれの NIC に設定すると、「Setup」ダイアログの NIC の選択に関係なく 機器と通信できないことがある不具合を修正しました。

既知の不具合

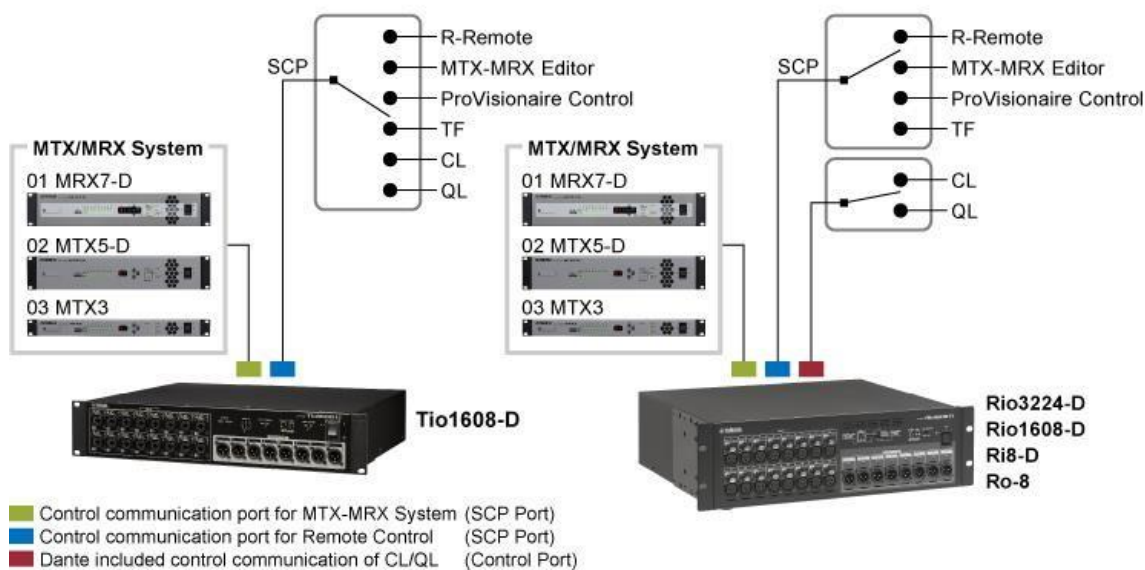
- ネットワークカードの名称にマルチバイトの文字があると、「Setup」ダイアログの「Network」タブで Network Card Name が文字化けします。
- ProVisionaire Touch KIOSK 用のファイル名に以下の文字が含まれていると正しく保存されません。
"<> |: *? ¥ /"
- MTX シリーズの Input CH->EQ->On を ProVisionaire Touch のワークスペースに配置した場合、オン/オフが ProVisionaire Touch KIOSK で逆転表示されます。
- [Recall Button]に IDK 社のデジタルマルチスイッチャ MSD シリーズが割り当てられている場合、[Indication Mode]を[Stateful]にしても点灯しません。
- 「ProVisionaire Monitoring Service Settings」画面で[TCP port number for data collection of ProVisionaire Monitoring Service]の Port 番号を 1 にすると「System Monitor」画面が表示されないことがあります。

- 「ProVisionaire Monitoring Service Settings」画面の[Select a network interface to communicate with devices]の設定変更は開いている ProVisionaire Control KIOSK や「System Monitor」画面には反映されません。変更した場合は、ProVisionaire Control KIOSK と「System Monitor」画面を開き直してください。

お知らせ

- 「ProVisionaire Monitoring Service Settings」画面の[TCP port number for view of ProVisionaire Monitoring Service]と[TCP port number for data collection of ProVisionaire Monitoring Service]の Port 番号は異なる値に設定してください。
- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF、R Remote、MTX-MRX Editor、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。
また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、TF、MTX-MRX Editor、R-Remote、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

SCP Port of Tio/Rio



V3.5.0

新機能

- [System Monitor]ウィジェットを使って、ネットワーク内の対応機器の稼働情報を取得できるようになりました。対象機器は、随時拡大する予定です。

- [Line Edit]ウィジェットを追加しました。キーボードやパッドを使ってパラメーターを直接数値入力できます。
- [Recall Button]の「Properties」に[Indicator Mode]を追加しました。
[Stateful]にすると、関連付けられたプリセット番号などがリコールされているときに、ボタンが点灯します。
- [Recall Button]、[On/Off Button]、[Direct Set Button]に最大 16 個のパラメーターをアサインして同時に制御できるようになりました。
- ボタンや図形などのウィジェットの、[Gradient]のパターンを 2 から 13 に増やしました。
- ボタンや図形などのウィジェットに 8 パターンの影エフェクトをかけられるようになりました。
- スタイルファイル(.ypvcs)のプリセットデータを 5 種類追加しました。
- KIOSK でファイルを開いたときにクリップアイコンを表示しないオプションを追加しました。
- DZR の Dante モデルに対応しました。DZR の対応ファームウェアは V1.1.3 以降となります。
- IDK 社のデジタルマルチスイッチャ MSD シリーズに対応しました。
対応機種は以下となります。
MSD-501、MSD-502、MSD-6203、MSD-6203Dan、MSD-6204、MSD-6204Dan、MSD-6206、MSD-6206Dan、MSD-6208、MSD-6208Dan、MSD-701、MSD-702
- NXAMPmk2 の[Delay Time]を[meter]や[feet]で調整できるようにしました。
- TF シリーズの TF MUTE MASTER GROUP#1, #2 に加えて GROUP #3~#6 をコントロール可能になりました。TF シリーズの対応ファームウェアは V4.00 以降となります。

修正した不具合

- プロジェクトに大量の画像データを入れるとプロジェクトファイルが正しく保存できないことがある不具合を修正しました。
- 空き容量が不足している保存媒体にファイルを保存または上書き保存すると発生する不具合を修正しました。
- Administrator Code を設定した状態で ProVisionaire Touch KIOSK にファイル転送ができない不具合を修正しました。
- Meter ウィジェットで Tri Color を選択した場合、Gradient がかからない不具合を修正しました。
- Indicator ウィジェットで Shape を Polygon にしても、変形ができない不具合を修正しました。
- Design Mode で操作中の安定性を向上させました。

既知の不具合

- ネットワークカードの名称にマルチバイトの文字があると、「Setup」ダイアログの「Network」タブで Network Card Name が文字化けします。

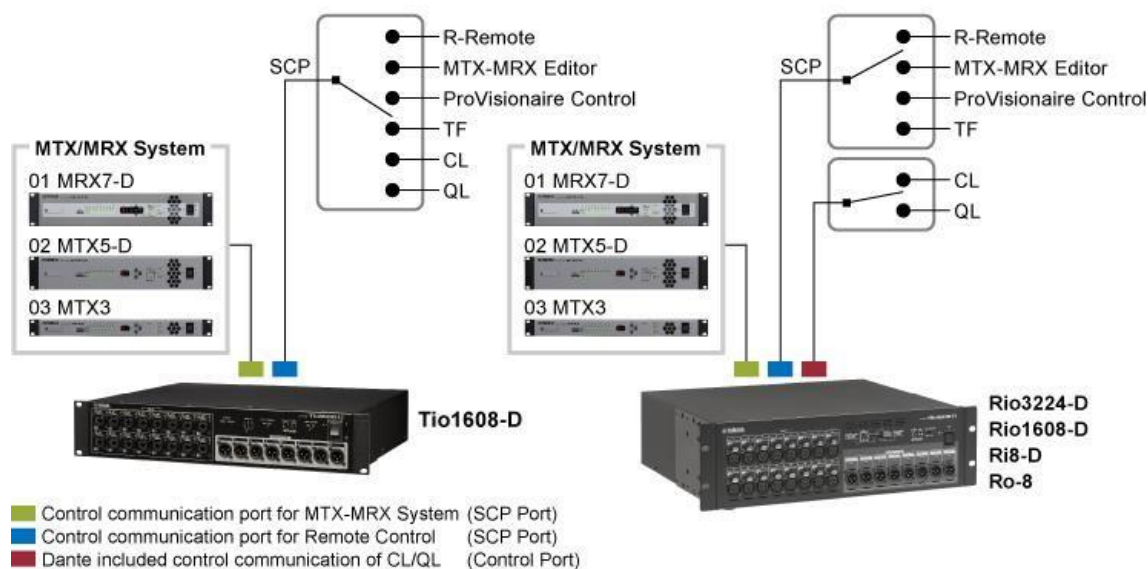
- Group 化したウィジェットをキーボード操作で移動し、他のページやコントローラーにフォーカスを移動したり、プロジェクトファイルを保存すると、キーボード操作による移動がキャンセルされます。KIOSK にもキーボード操作による移動は反映されません。
- 異なる図形で Copy Style&Paste Style を実行すると、コピー元の図形になります。
- ProVisionaire Touch KIOSK 用のファイル名に以下の文字が含まれていると正しく保存されません。
"<> |: *? ¥ /"
- MTX シリーズの Input CH->EQ->On を ProVisionaire Touch のワークスペースに配置した場合、オン/オフが ProVisionaire Touch KIOSK で逆転表示されます。
- [Recall Button]に IDK 社のデジタルマルチスイッチャ MSD シリーズが割り当てられている場合、[Indication Mode]を[Stateful]にしても点灯しません。

お知らせ

- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF、R Remote、MTX-MRX Editor、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、TF、MTX-MRX Editor、R-Remote、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

SCP Port of Tio/Rio



V3.0.1

仕様変更

- XMV シリーズの V3.31 のアップデートによるコマンド仕様の変更に対応しました。
ProVisionaire Control V3.0.0 以前のコントローラーファイルまたはプロジェクトファイルで XMV の Output Current をワークエリアに配置している場合は、再度プロジェクトファイルに Output Current をワークエリアに配置して、コントローラーファイルをエクスポートしてください。

既知の不具合

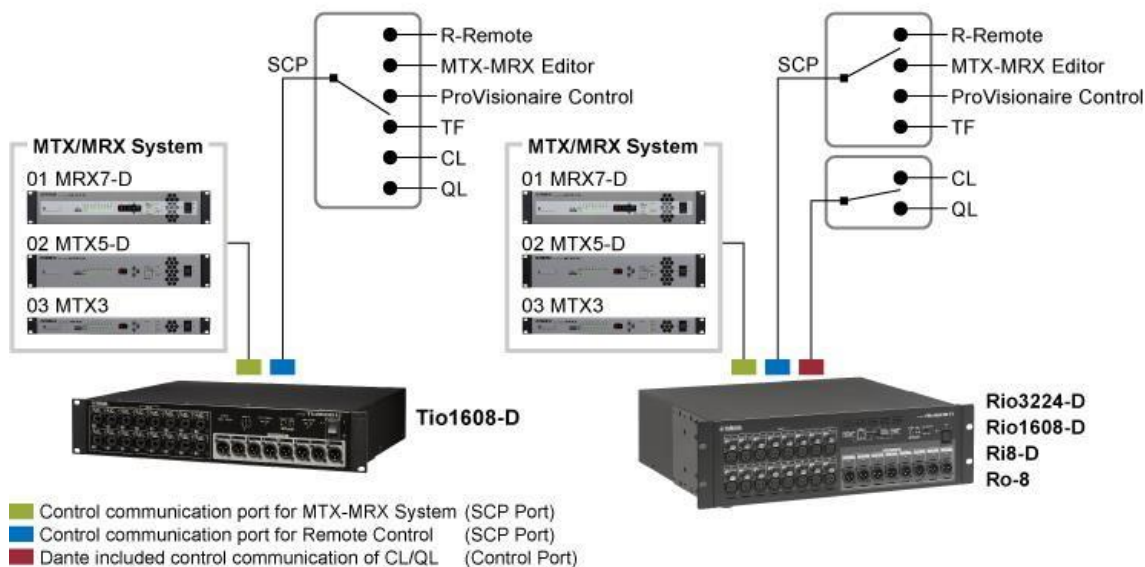
- ProVisionaire Touch KIOSK でサポートしていない Tio1608-D が Export できてしまいます。
Value ウィジェットなどで表示が正しくできません。
- Indicator ウィジェットで Shape を Polygon にしても、変形ができません。
- Meter ウィジェットで Tri Color を選択した場合、Gradient がかかりません。
- ネットワークカードの名称にマルチバイトの文字があると、「Setup」ダイアログの「Network」タブで Network Card Name が文字化けします。

お知らせ

- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF、R Remote、MTX-MRX Editor、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、TF、MTX-MRX Editor、R-Remote、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

SCP Port of Tio/Rio



V3.0.0

新機能

- ProVisionaire Touch KIOSK の V3 に対応しました。ProVisionaire Control で作成したコントローラーファイルを iPad に転送し、ProVisionaire Touch KIOSK で動かせます。
- グループ化機能を追加しました。
- ウィジェットの見た目(Style)をインポート/エクスポート/デフォルト化(Master Style)できるようにしました。
- 直前に行なったプロパティの変更を繰り返し次のウィジェットにも適用させる機能を追加しました。
- デザインモードのとき、ウィジェットにマウスオーバーするとアサインされたパラメーターをツールチップ表示するようにしました。
- 各機種チャンネル名称を Value ウィジェットにアサインできるようにしました。(*1)
- XMV シリーズの出力電流と Limiter ステータスを表示できるようにしました。XMV シリーズのファームウェアを V3.30 以降にしてください。
- MRX7-D の Audio Detector のディテクションインジケータに対応しました。
- MTX/MRX シリーズの SD カード内の音声ファイルを再生できるようにしました。
- 以下のウィジェットを追加しました。
- Inc/Dec ボタン、Direct Play ボタン、Play Info、Transport、Track List、Value、Indicator、Image
- NXAMPmk2、Rio3224-D2、Rio1608-D2、VXL シリーズ P モデルに対応しました。

*1) 表示されるチャンネルネーム一覧

	CL シリーズ、 QL シリーズ	TF シリーズ	MTX シリーズ	XMV シリーズ
Input Ch Name	○	○	○	-
ST Input Ch Name / Stereo Input Ch Name	○	○	○	-
Direct Input Ch Name	-	-	○	-
Fx Return Ch Name	-	○	○	-
Aux Ch Name	-	○	-	-
Mix Ch Name	○	-	-	-
Matrix Ch Name	○	-	-	-
ZONE Name	-	-	○	-
Stereo Ch Name	○	○	-	-
Sub Ch Name	-	○	-	-
Matrix Ch Name	-	○	-	-
DCA Name	○	○	-	-
Mute Master Name	○	-	-	-
Output Ch Name / Ch Name	-	-	○	○

改善点

- Devices」エリアで機器の昇順/降順の並び替えをできるようにしました。
- テキストの方向を変更できるようにしました。
- フォント選択時に以下のフォント群を選択できないようにしました。
- FixedSys、Modern、MS Serif、Roman、Script、Small Fonts、System、Terminal

修正した不具合

- XMV シリーズのデジタルインプットのメーターが動作しない不具合を修正しました。
- 自動検出した機器が LAN ケーブルの断線によって「Devices」エリアから削除されることがある不具合を修正しました。
- Button や Slider などの操作系ウィジェットを配置したあと、Line や Polygon などの表示系ウィジェットを近くに配置すると、操作系ウィジェットを KIOSK で操作できない不具合を修正しました。
- 解像度が異なるマルチディスプレイ環境下で他のディスプレイにウィンドウを移動させると、ウィンドウが表示されなくなることがある不具合を修正しました。

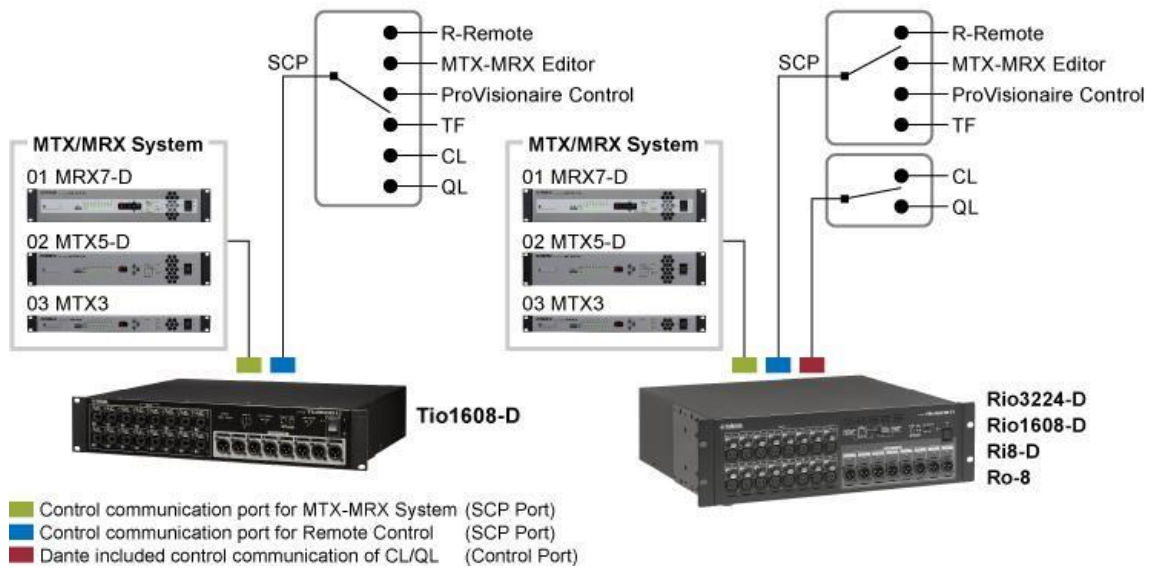
既知の不具合

- ProVisionaire Touch KIOSK でサポートしていない Tio1608-D が Export できてしまいます。Value ウィジェットなどで表示が正しくできません。
- Indicator ウィジェットで Shape を Polygon にしても、変形ができません。
- Meter ウィジェットで Tri Color を選択した場合、Gradient がかかりません。
- ネットワークカードの名称にマルチバイトの文字があると、「Setup」ダイアログの「Network」タブで Network Card Name が文字化けします。

お知らせ

- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF、R Remote、MTX-MRX Editor、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。
また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、TF、MTX-MRX Editor、R-Remote、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

SCP Port of Tio/Rio



V1.0.0

リリースバージョン

既知の不具合

- 解像度が異なるマルチディスプレイ環境下で他のディスプレイにウィンドウを移動させると、ウィンドウが表示されなくなることがあります。
この場合、以下の手順で再表示できます。
 - タスクバーの ProVisionaire Control のアイコンを<Shift>キーを押しながら右クリックして、[移動]を選択する。
 - マウスカーソルの位置にウィンドウが移動させるために、カーソルキーのいずれかを押す。
 - ウィンドウを移動させたあと、クリックして移動場所を確定する。
- Button や Slider などの操作系ウィジェットを配置したあと、Line や Polygon などの表示系ウィジェットを近くに配置すると、操作系ウィジェットを KIOSK で操作できません。たとえば Line なら始点と終点を対角線とした矩形が範囲となります。表示系ウィジェットを背面に移動させることで操作できるようになります。
- Terminal などのビットマップフォントでフォントサイズを大きくすると、[Zoom Origin]のときに Label などが表示されないことがあります。
[Zoom Origin]以外にすると表示されます。

お知らせ

- Tio1608-D を MTX/MRX システムに組み込んだ場合、Tio1608-D は CL、QL、TF、R Remote、MTX-MRX Editor、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

また、Tio1608-D や R シリーズ(AD/DA)を MTX/MRX システムに組み込んだ場合は、TF、MTX-MRX Editor、R-Remote、ProVisionaire Control や ProVisionaire Control KIOSK は同時接続できません。

SCP Port of Tio/Rio

